

10月26日 通学路説明会質疑応答について（要約）

Q：教科書に限らず、学習用具でも重いものがある。学習者用端末、鍵盤ハーモニカ、習字道具などは学校に置いていけるのか。特に学習者用端末は6年生の児童でも重いと思うが、学校からの連絡が載っているので毎日持ち帰っている。

A：学習用具は学校に置いていけるようにしたい。学習者用端末については、保護者のスマートフォンから classroom の連絡を見る方法を学校 HP に掲載する。

Q：入札は決まったのか。A：おそらく11月中だとは思いますが、決定ではない。

Q：登校班は編制するのか。A：現在その予定はない。

Q：個人的に保護者が送迎するのは大丈夫か。A：大丈夫である。

Q：「塩の道」はなぜ通学路として通れないのか。

A：○水辺なので、転落等の事故が危惧される。

○「塩の道」に降りるために一つ車道を渡らなければならない。この車道の横断は交通量も多く、非常に危険である。

○公道ではない。

Q：開門は現行通りなのか。

A：現行通り8時開門、8時45分授業開始で考えている。朝会などは極力 meet で行う。下校時刻は一定にする。

Q：現在、行事の練習等で朝早く登校したり、放課後残ったりすることがあるが、仮校舎に移動した後もそのような活動はあるのか。

A：移転後は、行事の朝練習や放課後練習は行わない予定。

Q：学習者用端末も学校に置いておけるとのことだったが、充電も学校でしてくれるのか。

A：可能な限り対応する。

Q：現在の交通当番はどうなるのか。頻度が増えるのか。

A：通学路に交通安全誘導員さんの増員を区教委にお願いしたりしている。保護者の方の交通当番を増やさないようにしたい。交通当番自体は継続する。

Q：旗当番の旗は仮校舎まで取りに行くのか。

A：現在、各家庭に1本ずつ渡せるように学校で手配している。

Q：通学の距離が長くなるので、雨天時に濡れてしまい風邪をひいたり、高温時に熱中症

になったりする児童が出てくるのではないかと思う。学校として対策をどう考えているのか。

A：雨天時は、門で待機させずに早めに校内に入れたい。いずれも検討する。

Q：丸八通りを渡る交差点の北側のところが一番危ないと思う。前回の説明会でもそのような説明だったし、道が狭く、ストップさんが立ったら人ひとり通るのがやっとなってしまうと思う。それでもそこを通るように通学路を変えたのはなぜか。

A：教職員でも何度か仮校舎への通学路を歩いた結果、砂島橋は渡った後の道が複雑だったり、団地の周辺に人気がなかったり、橋の欄干が低かったりと通学路としては適さないのではないかという意見になった。丸八橋を渡ると、渡った後の信号が大混雑する。小名木川を渡るのを塩の道橋に一本化することで、学校側が通学路を把握しやすくするため、丸八通りを渡すことにした。ただ、道は確かに狭いので交差点北側の通りは、バス通りより北側に住んでいる児童のみとしたい。5月に実施した通学路調査では、そこまで数は多くなかった。

Q：下校時刻を一定にするという話だが、高学年も全て5時間になるのか。

A：現在AとBの2種類の時程があり、仮校舎に移転後は、清掃と昼遊びを交互に取ることで全てB時程とする。6時間授業の終了時刻は14時55分。そこから帰りの学級指導なども含め遅くとも15時10分には下校できるようにしたい。

Q：道路を横断するところにはストップさんがいるとしても、バス通りを直線距離で歩く距離が長く、ストップさんになりすました犯罪者による誘拐事件など、防犯面がすごく心配である。犯罪に巻き込まれたらどうするか。

A：「知らない人についていかない」など、学校で児童に防犯について指導をする。その他の対策も順次検討していく。

Q：行きに青コースを通ったら帰りも青コースになるのか。

A：登下校は同じ通学路を通ることを原則とする。

Q：集団下校は実施するのか。

A：仮校舎に移転後、例えば低学年は同じ方面の児童と一緒に学校から送り出す、といったような集団下校を考えている。授業時数が違うので、全学年一緒の班を編成して下校するといったことはしない。きっぷクラブを利用する児童はきっぷクラブで対応。

Q：近隣小学校で導入されている「はとくん」のような登下校見守りサービスの導入はできないのか。

A：区教委には導入のお願いはしている。

Q：学校指定の通学路に出るまでの道は自由か。

A：各家庭の実態に応じて安全だと判断できる道を選んで通学路に出てほしい。